



学校教育目標	重点目標 (中長期的目標)
校訓 「創造・自律・誠実」 (1)一人一人の生徒を尊重する教育の実践 (2)いじめや体罰のない安心安全な学校生活の保障 (3)主体的な学習態度の育成 (4)個性を生かす進路指導の充実 (5)情操豊かな徳性と自律の精神の養成 (6)心身の鍛錬と質実剛健の気風の育成 (7)地域を愛し、地域に学び、地域に尽くす心の育成 (8)創造の意欲に燃える新たな良き校風の樹立	一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」をことごとく追求できる、生徒、保護者、地域、教職員にとって満足度の高い学校 今年度の重点目標 ①一人一人の生徒が尊重され、安心・安全で活力ある学校生活を保障する。 ②生徒それぞれの進路実現に必要な学力の定着と、学ぶことの大切さ、楽しさを伸ばす授業づくりを進める。 ③生徒の個性と能力を伸ばさせるキャリア教育と進路指導を実践する。 ④生徒の主体的な活動を支え、自己肯定感を高め、生きる力を育む。 ⑤地域に開かれた学校づくりを進め、自己実現を通じて社会に貢献できる生徒を育成する。

評価項目・評価の観点

領域	対象	評価項目 ※丸数字は重点目標との関連	評価の観点
教育活動	学習指導	② 授業の充実・改善	学び直しや習熟度別学習等の授業展開を工夫することにより基礎学力の定着を図り、キャリア教育を意識した授業実践に取り組むことができたか。 「授業の五か条」を定着させることができたか。 授業研修の機会をもてたか。
		③ 教育課程及び個に応じたエリア選択の設定	エリア選択のガイダンス指導は適切にできたか。 エリア制の目標に即した、充実したカリキュラムが実現できているか。
		③ 進路指導上必要と思われる情報の収集、管理、提供の確に行うこと	関係諸団体との連携を図りつつ、進路指導上必要な情報収集、情報提供を行うことができたか。また適切な情報管理がなされたか。
	生徒指導	① 安全な学校生活の保障	いじめや問題行動に対処的確に対応できたか。
		① 基本的生活習慣の確立	挨拶・通学マナー・上下履きの区別・その時にふさわしい身だしなみの定着ができたか。 スマートフォンについて、ルールやマナー、使い方を生徒が主体的になってコントロールできるように指導できたか。
		① 生徒会活動やクラブ活動の活性化	生徒会の行事や活動を主体的に企画・運営させるとともに、全会員を意欲的に参加させることができたか。 生徒会の活動方針やテーマを全会員に理解させ、それに則した活動を日常的に継続して展開させることができたか。 クラブ活動に目標を持って自発的に取り組み、意欲的な参加の姿勢を養うことにより、活動を活性化することができたか。
	生徒会	④ 生徒会活動、クラブ活動による自発的な態度と実践力および自治能力の育成	生徒会活動など特別活動の指導を通じ、生徒の社会参加を図り、地域に貢献する取り組みを行わせることができたか。 生徒会活動の指導およびクラブ活動の指導を通じて、生徒の自発的な態度を養い自治能力を育成することができたか。
		① 教育相談の充実（不適応生徒への対応）	対応を必要とする生徒の状況の把握を行う体制が構築できたか。 関係者との連絡を密に取り、適切、迅速な対応ができたか。
	教育相談		

領域	対象	評価項目 ※丸数字は重点目標との関連	評価の観点
教育活動	保健	① 生徒の心身の健康管理と増進、保健衛生の確立	健康診断による生徒の健康状態の把握と、その結果をふまえて早期治療に結びつけることができたか。 思春期特有の健康問題について生徒自身が気づき、対処できるような指導ができたか。 日常の健康観察や欠席、保健室来室状況から支援の必要な生徒に対し適切な対応ができたか。
		② 利用しやすい環境づくりと幅広い資料活用	利用しやすい環境づくりができたか。 自主的な探究心に応えられる資料を揃え、授業ほか幅広い利用支援を行えたか。
		① 視聴覚教育の充実 ② 人権教育との連携	視聴覚機器の充実と有効活用ができたか。 視聴覚教育・人権教育を通して、生徒の情操教育や学力向上に資することができたか。
	図書視聴覚	① 情報機器の活用体制	情報機器の有効活用が学校全体でできたか。
		① 個人情報の保護	情報を扱う際のリスクについて理解し、適切な個人情報の取り扱いができたか。
		① 危機管理	防災・事故等に備えた危機管理体制の広報と定着ができたか。
	環境美化	④ 清掃美化の徹底	生徒自ら、自発的に環境美化活動に取り組む姿勢を養い、校内美化の徹底を図ることができたか。 地域における学校の果たす役割として、駅周辺と通学路の環境美化に努力できたか。また、ごみの減量化、ごみの分別等ができたか。
		① 個人を尊重し、いじめのない学校づくりを進める	いじめを容認しない、早期発見ができる人権感覚の育成を生徒の日常生活の実態に即してクラス・学年・学校全体を通じて重層的に行うことができたか。 人権平和教育を教科と教科外の各領域において関連をもたせ、実施することができたか。
	人権平和教育		
	開かれた学校づくりと地域	保護者との連携	保護者との意思疎通を図り、協力関係、信頼関係を築くことができたか。 PTA諸会合・行事・学年学級PTA等のPTA諸活動を充実させることができたか。 保護者との連携を、生徒指導に生かすことができたか。
		⑤ 地域との連携	環境整備事業、授業や生徒会活動・クラブ活動等での社会人講師の活用、地域の要請に応える講師の派遣、授業公開、文化祭一般公開などを通して、学校が地域に信頼される存在となり得たか。
		学校情報の積極的な発信	中学校に対して本校の教育方針や取り組みについて積極的にアピールすることができたか。 学校ホームページのコンテンツの充実と情報公開を図ることができたか。
	学校運営	生徒・保護者・住民の学校参加	学校評議員会の充実を図り、生徒・保護者・地域住民との交流が深められたか。